

各 位

会 社 名 グラントマト株式会社
(コード番号 7137 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 南條 浩
問合せ先 取締役管理本部長 遠藤誠也
電話番号 0248-94-2014
(URL <https://www.grantomato.jp/>)

通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、2024 年 10 月 4 日開催の取締役会において、2023 年 10 月 13 日に公表した 2024 年 8 月期の通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024 年 8 月期通期業績予想数値の修正（2023 年 9 月 1 日～2024 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,980	182	174	115	60.27 円
今回修正予想(B)	14,541	341	330	270	135.40 円
増 減 額(B-A)	561	159	156	155	—
増 減 率(%)	4.0%	87.5%	89.6%	134.0%	—
(参考) 前期実績 (2023 年 8 月期)	12,824	222	217	249	129.91 円

2. 修正の理由

通期業績における売上高については、当社の主力サービスであるストア販売部門は、積極的なプロモーションと活発な営業展開により、売上高は堅調に推移しました。

農産流通部門は、設備投資による生産力と品質の向上とプロモーションの実施により、インターネットの米販売が堅調に推移しました。また、国内個人の外出需要増加に加え、地震や台風などによる個人備蓄が見られ、業務用米の需要も回復基調に転じたことから、流通・取引価格は上昇し、販売及び収益は大きく伸長しました。

FDC・インターネット販売部門は、消費財や農業関連商品等の価格の上昇があったものの、同業他社に比して商品構成の充実とプロモーションの効果により、販売は大きく伸長しました。

収益面においては、従業員のQOL向上の為に積極的な賃上げを行い、生産性向上のための設備投資を行う一方で、適正売価の推進並びに福島ディストリビューションセンターの運用効率向上とセンター内でのプライベート商品開発が増大した事に加え、精米設備の増強による生産量の増大、自社生産種苗のアイテムと生産量が増大、新事業の農業生産支援事業が順調に拡大したこともあって、生産から販売までの垂直統合がさらに進化し、当初予想を上回る収益を確保することができました。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上